

第4節 環境情報の活用

第1 環境モニタリングの充実

①モニタリングの充実

■発生源、環境質、府民意識及び影響モニタリングの充実

環境規制法令及び生活環境保全条例の規制基準に基づく工場の排ガスと排水、環境大気質、河川水、海水、地下水、土壌、環境騒音等の試験検査及び苦情等に関する検査分析や調査を行った。

■新たな課題に対応するモニタリングの検討

人工衛星データを用いた都市環境、自然環境の広域的把握の手法として、人工衛星ランドサット5号の熱赤外センサのデータを用いて都市の熱汚染の緩和策を検討した。

第2 環境情報システムの整備

①データベースの充実

■データの一元的管理、検索・表示等の機能の強化

大気汚染シミュレーション結果等で得られるメッシュデータを画像サーバのディスプレイに地図データとして出力できるシステムや、科学技術文献情報及び化学物質情報の検索システムの運用を行った。

②解析・予測・評価システムの充実

■システムの機能強化、環境指標の開発等

ワークステーションによる大気汚染予測システムを再構築し、構築したモデルを用いて、将来における環境状況のシミュレーションを行った。大阪湾水質汚濁予測システムについては、埋立地周辺の局地的な汚濁を予測できるように改良を行い、運用を行った。

また、環境総合計画の目標の達成状況等を具体的に示し、かつ環境に関する諸施策の効果を把握するのに有効な環境指標についての情報収集及び調査・検討を行った。

第3 環境情報の提供

①情報提供体制の整備

■環境情報コーナーの充実

(内容は、第1章第3節第2②に前掲)

■環境情報提供システムの充実

環境情報提供システムで得られた結果をインターネットシステムを利用して、画像表示等により府民にわかりやすい形で情報提供できるシステムを開発した。

■環境情報提供等の充実

(財)大阪中小企業振興センターにおいて、中小企業の環境問題や省エネルギーへの対応を支援するため、必要な情報の収集を行うとともに、各種冊子や情報誌、インターネット等により情報提供を行った。

また、収集した図書、雑誌等については、併設する産業情報図書館で閲覧に供した。

②コンピュータネットワークを利用した環境情報提供システムの整備

■インターネット等の活用による情報の発・受信

大阪府の環境ホームページ「エコギャラリー」のトップページを更新し、環境イベント情報や大阪の環境施策等について情報発信を行うとともに、「大阪府環境技術情報」をAPEC域内の環境保全技術情報の交流を促進するホームページ（APEC環境技術交流バーチャルセンター）を通じて提供を行うほか、府民参加型の環境ホームページである「かんきょう交流ルーム」の運営や「大阪府公害監視センター」のホームページでは環境学習プログラム「かんきょうワンダーランド」のコーナーを設けて簡単な操作で環境学習ができる機会の提供を行うなど、環境情報の交流を促進した。

③環境白書等の作成

■環境白書等の作成

環境の状況並びに豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策を中心に、環境に関する資料を併せて取りまとめた「大阪府環境白書」や、広く府民に環境問題に関する理解を深めてもらうための小冊子「おおさかの環境」等を作成し、情報の提供を行った。

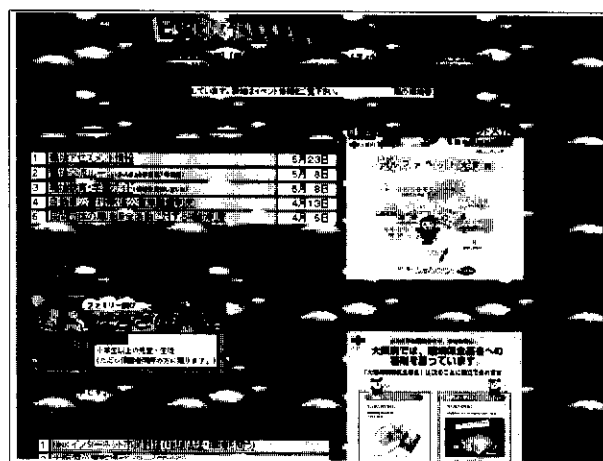
(URL)

○エコギャラリー

<http://www.epcc.pref.osaka.jp>

構成

- 更新情報
- イベント情報
- リンク集
- メインメニュー
 - ・環境技術情報
 - ・環境アセスメント情報
 - ・かんきょう交流ルーム 等

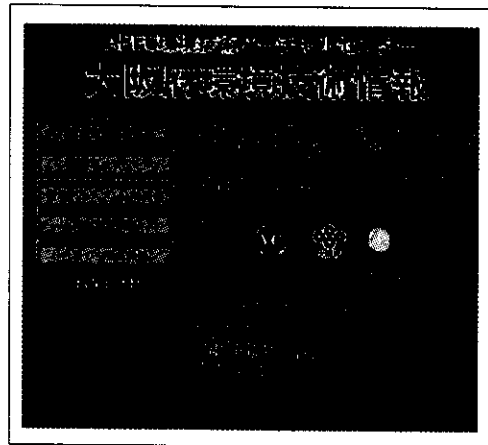


○大阪府環境技術情報

<http://www.epcc.pref.osaka.jp/apec>

構成

- 環境対策の歴史
- 環境の状況
- 環境アセスメントの実施
- 地球環境問題
- 今日の主要な課題

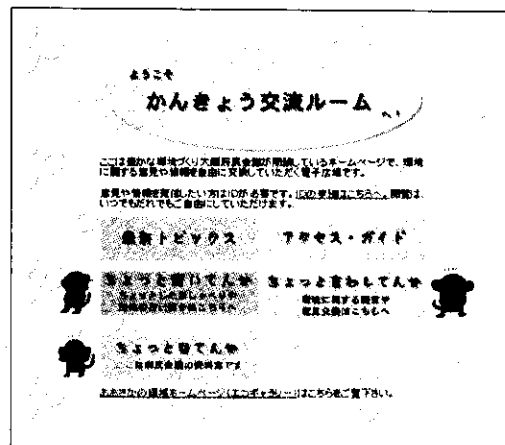


○かんきょう交流ルーム

<http://www.epcc.pref.osaka.jp/fumin>

構成

- 最新トピックス
- アクセスガイド
- ちょっと聞いてんか(伝言板・掲示板)
- ちょっと言わしてんか(会議室)
- ちょっと見てんか(資料室)



○大阪府公害監視センター

<http://www.epcc.pref.osaka.jp/center>

構成

- 事業紹介
- 沿革・組織
- 刊行物
- かんきょうワンダーランド
- ビオトープのとりくみ

